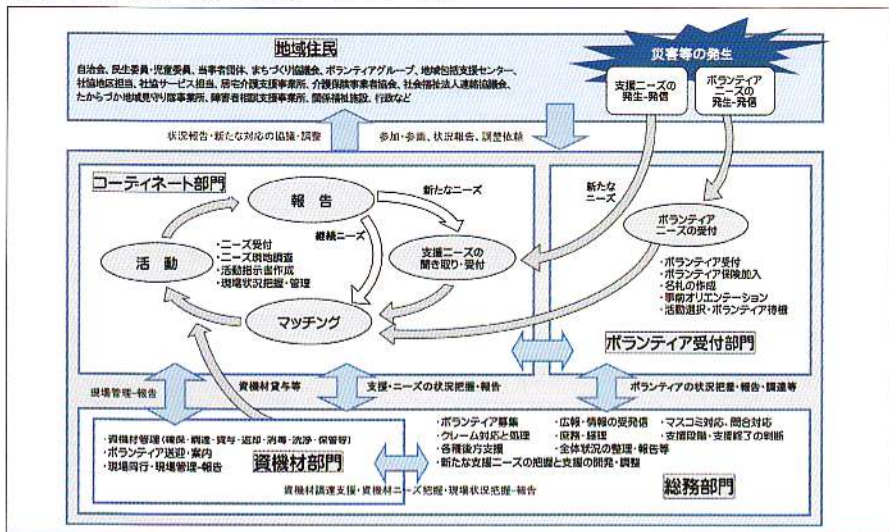


災害ボランティアセンター運営訓練

6月17日(日) ぶらざこむ 1

[災害ボランティアセンターフロー図]



宝塚社協による災害ボランティアセンター開設時の運営訓練が行われました。訓練では、宝塚から中山にかけて梅雨末期の集中豪雨により、4地区管内(美座周辺)で最大90cmの床下・床上浸水の被害が約50件発生した、と想定されました。全体の振り返りでは、事前の支援内容の聞き取りや、災害ボランティア側の事前準備や知識の底上げを望む声が上がりました。訓練翌日に発生した大阪北部地震に続き、7月の西日本豪雨。訓練がより切実なものに感じられました。



オープン前から、案内板を作ったり、備品を準備したり、総務は大忙し。



受付は超満員。ボランティア保険の加入も最終確認!



依頼内容とボランティアとをマッチング。あなたは、軽作業? それとも力仕事?



ロープ・スコップ・土のう袋など、活動に必要な資機材を借り、現場へ。



現場で遭遇した出来事も、活動報告書に記入し、コーディネーターに報告。



総務が撮影していたビデオ映像を見返して、全体の振り返りを行いました。

お礼

8月9日(木)、宝塚市社会福祉協議会より、災害ボランティアバスを運行し、倉敷市真備町で災害ボランティア活動を行いました。(ボランティア30名・社協職員4名の計34名。)現地では、土壁落としや床板剥がしなど、約3時間の活動でした。ご参加いただきました皆さまありがとうございました。

また、ご協力をお願いしておりました、『新品タオル』も倉敷市災害ボランティアセンターにお届けいたしました。たくさんの方々がお持ちくださり感謝しております。本当にありがとうございました。

